

柿の実

'21 井尻小学校便り

No.7

2021.10.22 発行

甲州市立井尻小学校



気付き
考え
実行する

学校教育目標

「豊かな心をもち自ら
切り拓く子どもの育成」

運動会へのご理解ご協力、ありがとうございました。

9月25日(土)、秋季大運動会を開催いたしました。子供たちは、練習の成果をしっかりと発揮して、素晴らしい運動会にしてくれました。

今年度の運動会は昨年に引き続きコロナ禍の影響を受け半日での開催となりました。感染症対策や熱中症対策をしながらの運動会練習、当日も感染症対策のため、午前開催、種目は低・中・高各ブロック3種目ずつと全校での縦割り種目のみでした。また、新入生による「宝拾い」も中止、入退場もなくなりました。子供たちには演技の制約だけでなく、感染症対策のマスク、手洗い、応援の制限など、これまで見慣れた運動会とはだいぶ違った運動会となっていました。しかし、その特別な運動会に向けて子供たちは一生懸命練習し本番に向けて取り組んできました。精一杯力と技と想いを尽くし、半日とはいえ、これまでの1日開催の運動会に、何ら引けを取らない素晴らしい運動会にしてくれました。終了後の子供たちからは、強い「やり遂げた感」が伝わってきました。我々教職員も児童と同じく、それまでの練習の苦勞を吹き飛ばす達成感を味わうことができました。加えて、こうした運動会の運営に対しまして、ご理解とご協力をいただきました保護者、ご家族、地域の皆様方には、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

10月になり、感染症の勢いもやや陰りが出てきたものの油断は禁物です。2学期後半も「ころ柿集会」「マラソン大会」等、井尻小にとって大事な行事が目白押しです。(保護者・地域の皆様のお力を借りなければ成功は望めません。)これからも念には念を入れての感染症対策の中で学校生活を送って行きます。今後とも、学校教育へのご理解・ご協力をお願いしたいと存じます。



校外学習の実施 5年生が県外旅行に行ってきました

本年度も5年県外旅行・林間学校、6年修学旅行については、2学期に延期させていただいております。8月から9月にかけての新型コロナの感染状況から、5年の林間学校は11月に宿泊をせず野外活動的な計画で日帰りの実施、修学旅行については2度の延期を行い、12月実施という計画になりました。これらの校外学習を楽しみにしている子供たちには申し訳ない気持ちでいっぱいですが、安全を第一に優先させていただいての判断ですので、ご理解願えればと思います。

そのような中で5年生が先陣を切って10月19日に「県外旅行」に行っていました。

行先は例年の東京旅行とは打って変わり静岡方面となりました。開通したばかりの「中部横断自動車道」を通って一気に東名高速へと乗ることができ、その速さと便利さに驚きました。

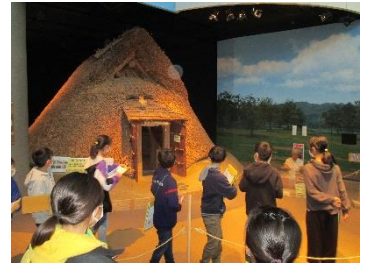
まず最初に向かったのは「登呂遺跡」です。「登呂遺跡」の名前を聞いた時から懐かしい響きだなと感じてました。私も井尻小の修学旅行で行ったことがあったからです。(もちろん細かいことは覚えていませんが…)

約 2000 年前の弥生時代後期の遺跡とのことで、「体験展示室」で様々な体験をしたり、屋外で「火起こし体験」をしたり竪穴住居に似た「平地住居」の中に入ったりと様々な活動を行いました。現代の生活から比べれば不便な生活なのですが、体験した 5 年生たちはどこか楽しそうだったのが印象的でした。

次に向かったのは徳川家康ゆかりの駿府城公園でした。ここの広い公園内でお弁当を食べる予定でしたが、あいにく雨が降り出してしまい、昼食は次の見学先である「地震防災センター」で取らせていただくこととなりました。せっかくなので家康の前で写真だけパシャリ！記念撮影です。

「静岡県地震防災センター」では実際に震度 6 弱の揺れを体験したり、防災に関する学習をすることができました。その中でも、井尻小のある井尻地区が富士山の噴火や台風による洪水・土砂災害などに関しては、本当に恵まれた場所に立地しており、館内の機械によるシミュレーションでも、ほとんど危険な地区から除外されていたことに驚きを隠せず、うれしく思いました。井尻地区は本当に素晴らしい地区です。

ここで勉強した 5 年生は、センターの方に、家庭に帰ってからは一家の防災リーダーになるよう命ぜられていました。活躍に期待しています！



ー い・じり・の・こ ー

ここ何年間か児童会テーマの柱として児童に親しまれている合言葉があります。なんだかわかるでしょうか？校舎 3 階のベランダにも、もう何年も前から掲げられているのでピンときた方も多いと思います。

そうです「愛(I)がいっぱい IJIRI 小」です。なんとも素晴らしい合言葉、いや愛言葉ではないでしょうか。これを考えてくださった児童会や先生方本当にありがとうございます。こういうのを私も考えたかったのですが、これに勝るものは出てこないでしょう。・・・正直くやしいです(笑)。



『 愛(I)がいっぱい IJIRI 小 』

アイ
EYE

👁️ 目でみて**気づき**

アイ
愛

❤️ 思いやりの心で**考え**

アイ
I



自分で**実行する**

この中には「**気づき、考え、実行する**」というこれからの子供たちに必要な生きる力を育む意味が託されています。子供を育むのは学校だけでなく地域にも大きな役割があります。この**愛言葉**ぜひ井尻小学区全体の**愛言葉**として広がり定着していったら素晴らしいですね。